

早瀧比咩神社通信

発行所：
早瀧比咩神社
総代会
玉野市滝773 番地
不定期発行
編集：葛原

石碑修復なる！

小宮様石灯籠も復元

6月28日、長年皆様にご心配をおかけしてしました早瀧比咩神社境内客殿南側に設置されている傾いた寄進石碑十七基の修復工事が完成しました。15日にフナツキ石材との間で工事契約書を交わし、18日に石碑の一時撤去か



傾いた石碑

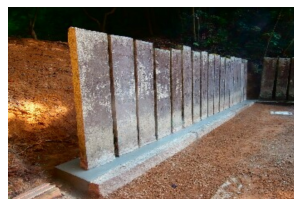
ら始まり、石碑を押ししていた裏山土砂を撤去し、



石碑は一時撤去

ト裾巻きで修復完了しました。業者の話ではこれで今後百年は大丈夫とのことでした。残る西側石碑群は大きな傾きもなく費用の面か

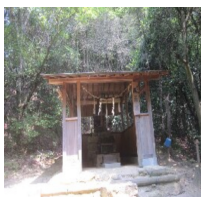
20日に一体基礎（ベタコン）を打ちました。基礎の乾燥をまつて26日に石碑を元の位置に垂直に据付け、28日にコンクリー



修復なった石碑

ら今回修復は見送りしましたが、裏山の雑木や土砂を部分的に除去して倒壊予防作業を行う予定です。

6月24日午前中、春祭りの準備作業中に崩落した小宮様前の古い石灯籠（据付日時不明）の復元を行いました。小型のレッカーを現場まで乗り入れ、散乱していた部品を吊り上げ、元の場所に積み高ねました。設置後セメントで目地を詰めて再崩落防止策をとって復元完了しました。



龍神社の全景

に鎮座しています。早瀧比咩神社ととも

納されています。龍王宮祭は毎年七月に農家の皆様には大切な儀式としておこなわれています。



復元された石灯籠

工事費の石碑七五万円と灯籠二三万円は伝統文化を守る基金で賄います。

龍王宮祭行われる

季節がら天気が心配されましたが、梅雨の晴れ間の七月三日午前十時から龍神社にて龍王宮祭が行われました。



龍王宮祭参拝

吉野宮司を始め、お宮役員・関係者や招待の各

荒神社のお話し

早瀧比咩神社の末社のひとつであり明治30年頃、永井地内つぎ原地区に分社された荒神社は氏子の皆さんの信仰の対象として長年守られています。

去る7月5日に永井地区大西区长からの申し入れにより神社役員と打合せを行いました。席上つぎ原地区氏子の事情で神社の祭事が出来なくなり神社を滝に返したい旨申し出がありました。



荒神社の全景

文書を提出してもらい、宮司さんのご意見を聞き総代で結論を出します。

現在早瀧比咩神社の本殿・拝殿の不慮の火災に備えて火災保険（農協と農済 計二口）に入っています。しかし昨今の災害状況や神社の置かれた環境をみると火災保険のみよりも地震や水害などの自然災害にも備える保

険の方が望ましいのではな

八月の行事

前号でも触れましたが八月四日（日）午前八時から噴水池の清掃作業を行います。全役員の協力で作業を円滑に行います。氏子の皆様でご協力いただける方にはよろしくお願ひします。



あとかぎ
昨年の秋祭り、御神輿の枠が折れたとのこと。幸い担いでいる人へのけが人は出なかつたので良かったです。今年も三堀組の藤原精治棟梁に修理をお願いして、折れた枠を搬入しました。

お宮の収入はすべて皆さまからのご寄進で成り立っています。以前から全役員も寄進の精神よりお宮行事の運営は無報酬で行っています。（編集者）

特集 龍神社

早瀧比咩神社の末社のひとつである龍神社（祭神は豊玉姫命）は奇岩群に囲まれ、滝川を挟んだ本殿西北側の山中